2023年度シラバス

科目名:SE23ENR02　Advanced Reading Ⅱ	担当者:Indu Juneja	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
The aim of this class is to improve students' communicative competence, with a focus on reading proficiency. Students will also read stories, biographies and other texts in class and use them to build their vocabulary. Students will also read many graded readers to build reading fluency. [EN] [AL]

授業の到達目標
Students will increase their comfortable reading speed to at least 120 words per minute and gradually become able to understand intermediate-level graded readers. They will work in small groups to discuss the content of stories and non-fiction texts. [DP]

【到達目標と深く関連する学科DP】

◎英語によるコミュニケーション力・他者との協働性

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎実践的かつ専門的な英語力
○国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力
○高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修：Students need to review words they have learned in their textbook and those they have written in their vocabulary notebook. (20分)
事後学修：Students must read a large number of graded readers every week and pass quizzes on the XReading software in order to meet the reading goal decided by their teacher. Reading should be done regularly and at a comfortable speed. (60分)
Feedback will be given on the quality of students' extensive reading each week in class.

評価方法
Participation in class activities (40%), homework and preparation (20%), extensive reading of graded readers (30%) and quiz and test scores (10%) will be considered for the final grade. The extensive reading goal of 100,000 words is an essential requirement.

教科書	参考図書
Reading Jump 3 by Casey Malarcher (Compass)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Don't forget to bring your textbook and handouts to each class. Participate actively in all activities. Do all assigned homework on time and review what you study in class. Finally, do your best and have fun using English with your teacher and classmates.

01	Course Introduction
02	Unit 1 part 1 Retro Toys in Movies
03	Unit 2 Television and the Internet
04	Unit 3 Rock and Roll Changes
05	Review of Units 1 to 3
06	Unit 4 Celadon Pottery
07	Unit 5 Oh My, Sugar Pie!
08	Unit 6 Sleeping Habits
09	Review of Units 4 to 6
10	Unit 7 What is in the Water?
11	Unit 8 Big Quakes
12	Unit 9 Up, Up and Away
13	Review of Units 7 to 9
14	Unit 10 The Scientific Method
15	Review of all Units
16	Vocabulary Check and Dictations from Units 1 to 7
17	Unit 11 Victimless Crimes
18	Unit 12 Adapting Fast Foods
19	Unit 13 Giraffe Heroes
20	Review of Units 11 to 13
21	Unit 14 Are Great Players Great Coaches?

22	Unit 15 Manners in Different Cultures
23	Unit 16 How Perfumes are Made
24	Review of Units 14 to 16
25	Unit 17 The Galapagos Islands
26	Unit 18 Dolphin Hunting
27	Unit 19 The Secret of Silk
28	Review of Units 17 to 19
29	Unit 20 Alexander Learns From Aristotle
30	Review of Units 11 to 20
31	No test

2023年度シラバス

科目名:SE23ENW02　Writing & Presentation Ⅱ	担当者:Eileen Sakakibara	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
The aim of this course is to develop student’s writing and presentation skills in English.(EN)

授業の到達目標
The goal is for students to be able to organize their thoughts and write essays and reports and give presentations.(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】

◎実践的かつ専門的な英語力

○国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力

○高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students are expected to come to class prepared and with all class materials.
Please read the designated textbook unit before the class.
preparation time 0.5hr and review time 0.5hr, total 1 hour.

評価方法
Grades for this course will be based on class participation 30%, assignments 30%, and presentation 40%.
Assignments and presentation feedback will be given in class.

教科書	参考図書
Discuss the Changing World　Miyako Nakaya　SEIBIDO ISBN978-4-7919-7208-1	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Do all assigned homework on time. If you are absent, contact classmate and find out what you can do to catch up

01	Class orientation
02	Writing　a review article
03	Unit 1 Artificial Intelligence
04	Unit 3　Food Waste
05	Unit 4　Environmental Problems
06	Review and writing　assignment
07	Unit 7　Immigration
08	Unit 8　Education
09	Brainstorming for presentation topic
10	Group discussion
11	Group discussion
12	Preparation for presentation
13	Presentation
14	Presentation
15	Presentation
16	Review Presentations
17	Writing　short speech
18	Unit 9　　Culture
19	Unit 10　Science: The New Agricilture Revolution
20	Unit 11　The Aging Society
21	Review and writing　assignment
22	Unit 12　DNA Technology
23	Unit 13　Relationship with Other Countries
24	Brainstorming for presentation topic
25	Group discussion
26	Group discussion
27	Preparation for presentation
28	Presentation

29	Presentation
30	Presentation
31	No test

2023年度シラバス

科目名:SE21ENA03　Advanced English Practicum Ⅲ	担当者:大塚　賢一	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
本授業の目的は、映画やニュース映像などのメディアを素材にし、生きた英語を学ぶことで実践的な英語運用能力を身に付けることにあります。映像内で実際に話されているリアルな口語表現をディクテーションしたり、語彙や文法を学ぶことはTOEIC等の検定試験のリスニングやリーディングのスコアUPににもつながります。

授業の到達目標
映像の視聴、ディクテーション、映画の内容把握、音読、ロール・プレイング練習を通して、英語で具体的な情報や概要を正確に把握することができるようになります（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎実践的かつ専門的な英語力
○国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力
○高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
＜準備学修＞指定された予習プリントに沿って、事前学習を行います。
＜事後学修＞授業内で学んだ表現や文法事項は、次回授業の最初に小テストの形式で再生してもらいますので、復習をしっかり行います。
（計4時間）

評価方法
授業内活動（30%）小テスト（50%）リフレクションシート（20%）
小テストや課題については、コメントを付して返却します。

教科書	参考図書
全て事前にワークシートとして配布します	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
辞書は必ず持参しましょう。

01	オリエンテーション（授業の進行・評価についての説明）
02	Day 1 Scene 1
03	Day 2 Scene 2, Mini Quiz
04	Day 3 Scene 3, Mini Quiz
05	Review
06	Day 4 Scene 4, Mini Quiz
07	Day 5 Scene 5, Mini Quiz
08	Day 6 Scene 6, Mini Quiz
09	Day 7 Scene 7, Mini Quiz
10	Review
11	Day 8 Scene 8, Mini Quiz
12	Day 9 Scene 9, Mini Quiz
13	Day 10 Scene 10, Mini Quiz
14	Day 11 Scene 11, Mini Quiz
15	Review
16	なし

2023年度シラバス

科目名:SE22ENA04　Advanced English Practicum Ⅳ	担当者:三輪　恭子	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
テキストを通してプレゼンテーションの構造を学びながら、英語で自分の考えを伝える訓練をします。語彙力に加え、論理的に伝える力を育てます。（AL）

授業の到達目標
理由を伝える、例を挙げるといったユニットごとの目標を学ぶことで、力強く説得力のあるプレゼンテーションを英語でできるようにします。語学力のみならず論理的思考力も養います。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎実践的かつ専門的な英語力
○国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力

○高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：次の授業の予習。トピックごとに自分の考えをどう伝えるか、テキストを用いて計画すること（２時間）
事後学修：授業後の復習、小テストに備えた勉強（２時間）

評価方法
授業参加度40%、確認小テスト30%、宿題30％
授業内で提示した課題およびテストのフィードバックは授業内およびMoodle上で行います

教科書	参考図書
Present Yourself 2: Viewpoints (Cambridge University Press)	授業内で提示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
辞書を必ず持参してください。疑問点について授業内で解決できるようしっかり予習し、積極的に質問するようにしてください。

01	イントロダクション; Getting Ready
02	Unit 1: A Person to Admire ① Exploring the topic
03	Unit 1: A Person to Admire ② Focusing on language
04	Unit 1: A Person to Admire ③ Adding impact
05	Unit 1: A Person to Admire ④ プレゼンテーション
06	Unit 3: Young People Today ① Exploring the topic
07	Unit 3: Young People Today ② Focusing on language
08	Unit 3: Young People Today ③ Adding impact
09	Unit 3: Young People Today ④ プレゼンテーション
10	中間振り返り
11	Unit 5: In My Opinion ① Exploring the topic
12	Unit 5: In My Opinion ② Focusing on language
13	Unit 5: In My Opinion ③ Adding impact
14	Unit 5: In My Opinion ④ プレゼンテーション
15	総括
16	No test

科目名:SE23SMN02　英語特別研究Ⅱ	担当者:大西　美穂	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	6
		必須.選択	必須

授業概要と方法
英語特別研究Iの課題を発展させ、言語データを収集し、適切な分析を加え、成果レポート（論文）の執筆を行う。すでに研究されている現象であっても、実例を収集し多くのデータに接するうちに、新たな発見ができる。興味深い言語現象を見出し、その現象の背後にある仕組みを探求する。

授業の到達目標
英語学への学問的理解を深化させ、論文として結実させる。[ESDP3]
論文のテーマにかんする文献を読む訓練をする。[ESDP2, 3]

【到達目標と深く関連する学科DP】
○実践的かつ専門的な英語力
◎国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力
◎高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
できる限り論文を読み、英語学への理解を深めること。また、日常的に多様な媒体、文体、分野の英文に触れ、そこから研究のためのデータとなる例文を採取すること。

授業で行う発表や報告の資料作成、議論のための準備（2時間）
研究テーマの先行研究入手など論文執筆に向けた準備（1時間）
卒業論文の執筆（３時間）
総合的な英語力の向上のための地道な語学学習（1時間）

評価方法
理解度40%、論文の内容30%、論文の構成力30%を総合的に評価する。
各課題別に授業で随時フィードバック

教科書	参考図書
論文テーマに合わせ個別に紹介する	個別に指導する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
文献やデータの整理、管理を徹底すること。提出物の期限を厳守すること。

01	ガイダンス
02	文献購読（１）
03	文献購読（２）
04	文献購読（３）
05	論文執筆（１）
06	論文執筆（２）
07	論文執筆（３）
08	発表準備（１）
09	発表準備（２）
10	発表
11	先行研究のまとめと修正
12	理論的基盤まとめと修正
13	データ分析まとめと修正
14	結論まとめ
15	論文の要旨作成
16	論文校正の方法
17	論文校正（１）
18	論文校正（２）
19	論文校正（３）
20	先行研究振り返り（１）
21	先行研究振り返り（２）
22	先行研究振り返り（３）
23	ハンドアウト作成方法
24	ハンドアウト作成（１）
25	ハンドアウト作成（２）
26	ハンドアウトを用いたプレゼンテーションの仕方
27	プレゼンテーション準備（１）

28	プレゼンテーション準備（２）
29	プレゼンテーション
30	まとめと展望
31	なし

2023年度シラバス

科目名:SE23WRD09　国際関係特論	担当者:塚本　江美	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	4
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、現代世界を取り巻く多種多様な国際問題を取り上げます。授業の前半では国際関係論の基礎知識のおさらいをします。後半では各地域ごとに抱える課題について学び、批判的視点を持ち、地球市民の一員として考え、国際協力のはじめの一歩を踏み出す行動を考えます。

授業の到達目標
①国際関係の知識を深めると共に、地球規模課題について知り、その背景や問題点について自分なりの意見を持てるようになる。②国際協力のはじめの一歩を踏み出す行動は何かを考えることができるようになる。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】

○実践的かつ専門的な英語力
◎国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力
◎高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業前・後（2時間／週以上）：世界各国の情勢に関心を持ち、ニュースを聞く、新聞を読む（ネットニュース、ネット新聞でも可）。
授業後（2時間／回程度）：授業時に提示するディスカッショントピックに関する調査とレポート作成。
授業において提示した調査やレポートに対するフィードバックは提出後の授業の中で共有します。

評価方法
授業への参加態度(受講態度・意欲、授業内発言、発表等含む）50%、レポート50%

教科書	参考図書
パスカル・ボニファス著、佐藤絵里訳『現代地政学 国際関係地図』（ディスカヴァー・トゥエンティワン、2019年）	授業中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
オフィスアワーおよび連絡先は授業時に指示します。

01	イントロダクション：本授業の説明とレポート課題の提示
02	歴史的視点①
03	歴史的視点②
04	歴史的視点③
05	国際レジーム①
06	国際レジーム②
07	国際レジーム③
08	地球規模の課題①
09	地球規模の課題② 地球規模の課題地球規模の課題② 外交 2
10	地球規模の課題③
11	紛争と戦争①
12	紛争と戦争②
13	紛争と戦争③
14	現代の危機①
15	現代の危機②＜中間まとめ＞
16	ヨーロッパ①
17	ヨーロッパ②
18	ヨーロッパ③
19	南北アメリカ①
20	南北アメリカ②
21	南北アメリカ③
22	アラブ世界①
23	アラブ世界②
24	アラブ世界③
25	アフリカ①
26	アフリカ②
27	アフリカ③

28	アジア①
29	アジア②
30	アジア③
31	レポート〆切

2023年度シラバス

科目名:SE21WRD06　地域研究特論Ⅲ	担当者:井川　恵理	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
【イギリス】
英語専攻ディプロマポリシーにある「豊かな教養」と「国際化が進む現代社会でのさまざまな問題に適切に対応」する力のために必要な教養として学ぶ科目である。日本で「イギリス」と呼ばれている国 The United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland （以下 UK)が４つの国・地域の連合王国であることを政治、社会、文化とそれらを形成する言語や民族の多様性から理解し、そのアイデンティティが他国との関係にも影響を及ぼすことを理解する。

授業の到達目標
UKの正式名称とその成り立ち、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドという国（地域）から成る連合王国であることを理解する（DP）。また、それぞれの国（地域）の言語、文化、歴史の概略、それに伴う現在の政治状況と流動性を理解する（DP）。各自が各地域の特性を意識しながらプレゼンテーションを行う。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○実践的かつ専門的な英語力
◎国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力
◎高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修・事後学修にそれぞれ2時間、計4時間の授業外学修活動を行う。内容は、リフレクション記入、プレゼンテーション準備、UKやUKとEUとの関連など国際ニュースを定期的に確認し、最新の情報を入手することである。

評価方法
各授業内ディスカッションと授業後提出のリフレクション 30%、プレゼンテーション 20%、確認テスト（２回）50%。フィードバック方法は、リフレクション、プレゼンテーションについては、コメントおよび評価を返却し、確認テストは採点して返却する。

教科書	参考図書
プリントを配布する。	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
メールアドレス： ikawa@ohkagakuen-u.ac.jp研究室：7310

01	オリエンテーション、シラバス説明、日本における「イギリス」のイメージ
02	UKの地図、象徴する物事
03	2016年 UK　EU離脱を問う住民投票とその後
04	2012年ロンドン・オリンピック　開会式のUK　Songs of the Four Nations
05	2012年ロンドン・オリンピック　開会式のUK　文学作品
06	2014年 スコットランド独立を求める住民投票
07	UK内各国（地域）のアイデンティティ～各国・地域の特性を理解する
08	なぜ、「連合王国」なのか
09	中間確認テスト　各国・地域のシンボルとは
10	アイルランドとUK 'UK'の変遷
11	アイルランド独立までの歴史
12	北アイルランド問題　1970年代
13	音楽にみるUK
14	映画にみるUK
15	まとめ　UKと「ブリティッシュネス」
16	なし

2023年度シラバス

科目名:SE21WRD07　地域研究特論Ⅳ	担当者:生井　正人	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
現代の経済活動の主体は家計、政府、企業です。そして様々な企業の中で株式会社は重要な位置を占めています。この講座では17世紀のヨーロッパに誕生した株式会社である二つの東インド会社を取り上げます。受講生の皆さんはそれらの会社の発生、成長・転換、消滅の過程と歴史的背景を学びます。授業時間の前半では講義を、後半では皆さん自身による調べと発表、意見交換を行い、まとめとしてワークシートを完成させます。

授業の到達目標
受講生の方は近代以降のオランダとイギリスならびに東南アジアとインドに関する知識を増やせるでしょう。また株式会社の歴史と仕組みを理解するとともに、企業・経営分析の基礎知識・手法を習得し、それらを駆使して個別企業の組織、経営を実際に分析し、その特色や問題を明らかにし、自分なりの経営計画や改革案を提示できるようになるでしょう。加えて企業の社会的責任等も理解するでしょう。（DP:国際社会において必要な教養／ESDP2:問題発見・解決力など）

【到達目標と深く関連する学科DP】
○実践的かつ専門的な英語力
◎国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力
◎高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
予習として基本事項の確認（世界史・世界地理の復習）をしておいてください。（1～2時間程度）
復習として参考文献（授業内で指示します）を通読してください。（2～3時間程度）
新聞、テレビなどでニュースをチェックするようにしてください。（毎日1～2時間程度）

評価方法
授業への積極的な取り組み：25%（レポートは成績評価の後コメントを加えて後日返却します。）
小テスト：25%（答案の返却時に解説を行います。）
定期試験：50%（試験終了後に解答の手引きを配布します。）

教科書	参考図書
テキストは使用しません。必要に応じて資料を配布します。 テキストは使用しません。必要に応じて資料を配布します。 テキストは使用しません。必要に応じて資料を配布します。	授業中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
初回のガイダンス時に連絡先（メールアドレス）をお知らせします。

01	ガイダンス
02	ヨーロッパ史概説
03	株式会社発生以前の企業（1）フッガー家について
04	株式会社発生以前の企業（2）フッガー会社の企業形態について
05	株式会社発生以前の企業（3）フッガー会社の経営について
06	オランダ史概説
07	オランダ東インド会社（1）株式会社としての基本構造と会社の特殊性について
08	オランダ東インド会社（2）経営実態について
09	オランダ東インド会社（3）会社の衰退と解散／その後のインドネシアについて
10	イギリス史概説
11	イギリス東インド会社（1）株式会社組織の発展と完成について
12	イギリス東インド会社（2）商事会社としての繁栄と植民地支配について
13	イギリス東インド会社（3）独占・統治権の廃止と会社の解散／その後のインドについて
14	現代の企業（1）個別企業の組織と経営について
15	現代の企業（2）企業の社会的責任について
16	定期試験

2023年度シラバス

科目名:SE21WRD08　地域研究特論Ⅴ	担当者:小久保　嘉紀	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「対外関係史」
〈授業概要〉
　日本は歴史の中で、世界の各地域とどのような関係を築いてきたのか、各時代ごとに考察する。また、日本や世界の国々の生活史や文化史にも注目し、生活や文化の違いの歴史的背景についても考える。
〈授業方法〉
　講義形式で行う。

授業の到達目標
　日本の歴史の中で、世界の各地域とどのような関係を築いてきたかを理解することができる。また、日本と世界の国々の生活や文化の違いの歴史的背景を理解し、尊重することができる。

【到達目標と深く関連する学科DP】

○実践的かつ専門的な英語力

◎国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力

◎高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：前回の授業を見直し、復習を行う（１時間）。次回の授業に備え、予習を行う（１時間）。
事後学修：今回の授業を見直し、復習を行う（１時間）。期末試験に向けた対策を行う（１時間）。

評価方法
期末試験70％＋中間レポート30％
　※中間レポートは評価の上、返却する。

教科書
　無し。

参考図書
・『アジアの中の日本史』全６巻（東京大学出版会、1992・1993年）
・『NHKさかのぼり日本史　外交篇』全10巻（NHK出版、2012・2013年）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　コロナ禍の中での授業ですが、心と体の健康を維持して、ともにがんばりましょう。

01	オリエンテーション
02	縄文・弥生時代―縄文・弥生人のルーツ―
03	古墳・飛鳥時代―「日本」の成立と東アジア―
04	奈良・平安時代―貴族社会と「外つ国」―
05	鎌倉・南北朝時代―鎌倉幕府と元寇―
06	室町時代―足利義満と勘合貿易―
07	戦国時代―ヨーロッパとの出会い―
08	織田・豊臣政権―信長・秀吉の世界観―
09	江戸時代―「鎖国」をめぐって―
10	明治・大正時代―文明開化と対外戦争―
11	戦時中の社会―太平洋戦争と軍国主義―
12	日本と世界の生活史―衣食住―
13	日本と世界の文化史①―色・数字―
14	日本と世界の文化史②―動物・怪異―
15	日本と世界の文化史③―現代メディア―
16	期末試験

2023年度シラバス

科目名:SE22EDU02　初等英語教材研究特論	担当者:Deborah Broadby	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
Students will participate in group work, talking with the teacher, practicing with classmates and other practical work. Printouts, videos and CD’s will also be used to help the students develop their understanding and skills of application.

授業の到達目標
The purpose of this course is to introduce various ideas for choosing and developing materials for teaching English to children. (DP)
The students will gain confidence in using cards, games, songs, and crafts for teaching English to children. (DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎実践的かつ専門的な英語力

◎国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力
○高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
You will be expected to complete some work at home. Some preparation and review will also be required. (4 hours)

評価方法
Class Participation 25%、Homework ❐5%、Report 30%、Final Quiz 30%
Feedback will be given during class time.

教科書
No text.

参考図書
How to Teach ESL Kindergarten: Everything You Need to Know to Teach English as a Foreign Language to Young Learners by Stephanie Anderson (CreateSpace)

Teaching Young Learners English by Joan Shin (Cengage)

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
This class is very interactive with lots of hands-on practice which is fun. Students need to fully participate in order to integrate the ideas and techniques taught in class.

01	Introduction and course outline
02	Language topics and vocabulary
03	Flashcards introduction
04	Flashcards project
05	Games with flashcards
06	Using songs in the classroom
07	Song project
08	Using storybooks in the classroom
09	Storybook project
10	Using Arts and crafts in the classroom
11	Arts and crafts project
12	Holidays and culture
13	Holidays and culture project
14	Lesson plan
15	Practical
16	No Test

2023年度シラバス

科目名:SE13SMN00　英語研究法	担当者:専攻科教員全員	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	4
		必須.選択	必須

授業概要と方法
【担当者の実務経験】大塚賢一（高等学校教諭）
英語学・言語学、英米文化、英語教育学、応用言語学、観光学など、各分野についてそれぞれ４回の授業を受けながら学ぶ。授業の方法、評価方法など、さらに詳しい内容については、それぞれの分野／担当の第1回目の授業において明示する。

授業の到達目標
英語および関連する様々な分野の学びを通し、多角的な視点から「研究」を深めることができるようになる「(DP)」。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○実践的かつ専門的な英語力
◎国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力
◎高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
課題や参考図書を各授業担当者から指示するので、読書や文献調査の習慣をつけること（４時間以上）。授業において提示した課題(試験、レポート等)に対するフィードバックは、次回授業にて行います。

評価方法
授業の参加態度、課題、小テスト等に基づき評価し、各授業者による評価をまとめ、総合的に判断する。評価の配分割合、さらに詳細はそれぞれの分野／担当しの第1回目の授業において明示する。

教科書	参考図書
原則として使用しない。ただし、購入が必要なもの等は随時連絡する。	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	言語学（1）
02	言語学（2）
03	言語学（3）
04	言語学（4）
05	専攻科における研究　大西
06	研究に必要な文献の種類　大西
07	辞書と言語学　大西
08	Extensive Reading research　クラーク
09	Story listening research　クラーク
10	Vocabulary research　クラーク
11	Views on language learning　クラーク
12	地域の国際化（1）　塚本
13	地域の国際化（2）　塚本
14	地域の国際化（3）　塚本
15	言語研究と哲学　福本
16	英語学と応用言語学　福本
17	グローバル化と英語教育　福本
18	多文化共生の中での英語　福本
19	観光英語検定と通訳案内士試験
20	英語による訪日観光案内1
21	英語による訪日観光案内2
22	発表
23	教育測定の基礎　大塚
24	実例から学ぶ教育測定　大塚
25	最新の論文から学ぶ教育測定（1）　大塚
26	最新の論文から学ぶ教育測定（2）　大塚
27	文学史　三輪
28	テクストへの取り組み　三輪
29	テクストの背景　三輪
30	テーマの絞り込みと文献検索　三輪
31	なし

2023年度シラバス

科目名:SE11LIN01　応用言語学	担当者:大塚　賢一	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
【担当者の実務経験】高等学校教諭
言葉と社会や文化との関係、バイリンガリズム、学習者要因、コミュニケーション能力、教授法、母語習得、第二言語習得などの切り口から、英語や言語に対する理解を深めます。

授業の到達目標
1. 「英語」の現状と今後の展開を述べることができる2. 第二言語習得の仕組みを理解し、思い込みや俗説を理論的に批判することができる「(DP)」

【到達目標と深く関連する学科DP】
○実践的かつ専門的な英語力
◎国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力
◎高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で学習したトピックについてのレポートやクイズを毎週行いますので、学習した事を復習して下さい（４時間）。授業において提示した課題(試験、レポート等)に対しては、個別にフィードバックします。

評価方法
毎回のレポートやクイズが70%、プレゼンテーションが30%

教科書	参考図書
ワークシートを毎回配布します	特にありません

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自分自身の英語学習の現状を常に考えながら、講義に参加してください。

01	応用言語学とは
02	社会階層と言語使用
03	スタイルとレジスター
04	世界における英語の特徴：黒人英語
05	世界における英語の特徴：アジア（インド英語、マレーシア英語）
06	世界における英語の特徴：アジア（フィリピン英語、シンガポール英語）
07	世界における英語の特徴：World Englishes
08	学習者の特性：臨界期
09	学習者の特性：年齢
10	学習者の特性：適性
11	学習者の特性：性格
12	学習者の特性：認知と学習スタイル
13	学習者の特性：学習方略
14	論文から学ぶ最新の応用言語学
15	学習のまとめ
16	なし